

2024 年度 妻ヶ丘幼稚園 2 学期園内自己評価

ひよこ組

— 2 学期の目標 —

- ◎ 保育者に助けられながら、身の回りのことに興味を持つ
- ◎ 簡単なルールや約束事が理解できるようになる

— 活動内容 —

せんせいみてみて～！

(健康な心と体, 自立心, 協同性, 道徳性・規範意識の芽生え)

- ・手先をうまく使えるようになり、衣類の着脱や靴の着脱が自立してできるようになってきた。
- ・室内では自分の作りたい形をブロックでつくったり、描きたいものを自分なりに絵で表現する姿が見られるようになってきた。
- ・友だちと手を繋いで歩き、保育者に「見てみて！」と声をかけたり、登園してきた園児に「おはよう」と声をかける姿が見られ、友だちとの関わりを楽しむ姿が見られる。
- ・苦手な食べものがあると食が進まない子どもも多いが、少しずつ挑戦しようとする姿がみられるようになってきた。



やってみたい！

(自立心, 思考力の芽生え, 言葉による伝え合い, 豊かな感性と表現, 自然との関わり・生命尊重)

- ・保育者の様子を観察し、遊びの中に取り入れたり、真似をして読み聞かせをする姿が見られる。
- ・散歩に出かけると、近くの花の匂いを嗅いだり、遠くにあったクレーン車に気付き、友だちや保育者と会話を楽しんでいた。
- ・体操や遊戯に意欲的で、初めて聴く音楽でも、自分なりに体を動かして踊り、意欲的に友だちと一緒に踊ろうとする。
- ・戸外にいる蟻に興味を持ち、園庭のさまざまな場所を探して大きなお皿に入れて見たり、観察していた。
- ・遊具の使い方や遊び方を、保育者が繰り返し伝えながら、少しずつ理解して遊べるようになってきた。



— 2 学期の反省 —

- ・身の回りのことに興味を持ち、自分で靴下や靴が履けるようになったり、排泄でも、保育者の言葉を理解して自分で行動にうつすことができるようになってきた。
- ・友だちとの関わりが深まるにつれ、遊びが激しくなり、押したり、注意されている友だちの真似をするようになってきた。保育者の言葉かけも注意することが増えていたため、前向きな声掛けや周りの子どもたちへの影響を考えて関わってきたい。
- ・園庭の新しい遊具の使い方を繰り返し伝えながら遊んでいくと、守って使えるようになってきた。
- ・理解できる言葉が増え、遊びの中で言葉で伝えられるようになってきたり、物の貸し借りでは、「貸して」「待って」のやり取りで待つことができるようになってきているところである。

— 3 学期の目標 —

- ◎ したいことや、してほしいことをしぐさや言葉で表現していく
- ◎ 身の回りのことを自分でしようとし、できたことを喜ぶ